

また、近年の外国人観光客の増加に伴い、災害時において避難所での対応が必要となることから、外国人避難者との会話が困難な場合であっても、必要最低限の意思疎通ができるよう、職員を対象に、外国人向け避難所会話セットやスマートフォン用の多言語音声翻訳アプリなどを活用した訓練を行うなど、外国人避難者への対応を強化していきます。

消防体制の強化



▲市役所本庁舎と同様に老朽化が進む消防本部・本署

消防支署の建て替えについては、登別支署と登別温泉支署を統合した新支署の来年10月の供用開始を目指すとともに、消防本部・本署の建て替えについては、将来を見据えた消防力の

強化や効率化、災害時の消防救急体制の強化を図るため、平成30年11月に策定した『幌別地区と鷲別地区の消防体制について』に基づき、建て替えに向けたさまざまな事務を進めていきます。

また、近年、外国語での119番通報を受信するケースが多く発生していることから、外国人観光客からの119番通報時や救急現



▲長い列をなし、バスを待つ外国人観光客

場における、迅速かつ的確な対応ができるよう、24時間体制で15カ国語に対応可能な通訳を交えた三者間同時多言語通話の導入を進めます。

公共施設のあり方

市民の皆さんがさまざまな手続きを行う窓口として、また、市民活動の場として活用される公共施設の設置のあり方については、人口減少社会の到来による影響や施設の耐用年数、利用度、運営コストなど、幅広い視野のもと、市民の理解をいただきながら検討する必要があります。

当市の公共施設は、多くの市民が地域活動や健康づくりの場として、また、まちづくりに取り組み活動拠点として活用されていますが、その公共施設の多くは昭和30年代後半から50年代に建築された



◀市民活動などいろいろな公共施設



ものが多く、老朽化が進んでおり、今後、大規模な修繕や建て替えが必要となります。施設の更新・統廃合・長寿命化など

については、長期的な視点のもと、引き続き、市民の活動の場として活用されるよう、財政負担の軽減や平準化を図り、適正に配置する必要があります。そのため、平成31年度は、各公共施設の現況調査を行い、『個別施設計画』の原案策定に着手し、翌年度中の完成を目指すとともに、『登別市公共施設等総合管理計画』へ反映し、計画に基づき、施設の更新や統廃合、長寿命化に向けた取り組みを進めていきます。

まちづくりの拠点・防災の要

市役所本庁舎の建て替えについては、多くの市民やさまざまな団体からのご意見を伺い、『登別市本庁舎建設基本構想』を策定したところです。基本構想でお示しした新庁舎の役割については、災害時の防災拠点となる『市民の安全安心を支える庁舎』、市民交流の場となる『市民が集い、活用できる憩いの場となる庁舎』、職員の業務効率向上に資する『使いやすく効率的な庁舎』、バリアフリーの充実や省エネルギーを実現する『誰もが利用しやすく、



▲平成30年5月、市内4カ所で開催した市民説明会

人や環境にやさしい庁舎』などを目指しているところであり、その具体的な機能や建て替えの手法などを定める基本計画の策定を平成31年度を目途に、市民の皆さんや多くの団体から意見を伺い、事務を進めていきます。

安全安心な教育環境の確保

学校施設の耐震化については、児童・生徒の安全で安心な教育環境を最優先に確保するため、平成20年度に耐震化の優先度調査を行ったのち、順次、校舎などの耐震化に向けた実施設計・耐震改修工事を進めているところであり、12年目となる平成31年度については、幌別西小学校及び登別小学校校舎の耐震改修工事を実施していきます。最後の2校である幌別東小学校及び幌別中学校校舎については、平成31年度に耐震改修工事の実施設計に取り組み、その翌年度の耐震改修工事をもって、これまで長期にわたって取り組んできた市内小・中学校全ての校舎などの耐震化を終えます。

幌別東小学校



幌別中学校

